

テニルクロール・ベンゾビスシクロン剤 ホットコンビ (200粒剤 / ジャンボ / フロアブル)	取扱メーカー： 日農 原体メーカー： エス・ディー・エス、 エス・ディー・エス
成分： テニルクロール〔酸アミド系〕 ……10.0% (粒剤), 10.0% (ジャンボ), 4.0% (フロアブル) ベンゾビスシクロン〔ビスシクロオクタン系〕 ……10.0% (粒剤), 10.0% (ジャンボ), 4.0% (フロアブル)	性状： 類白色細粒 (粒剤) 類白色細粒 水溶性パック入り 1パック20g (ジャンボ) 淡褐色水和性粘稠懸濁液体 (フロアブル) 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】…………… 〈共通〉

●ノビエ及び一年生広葉雑草に卓効を示すテニルクロールと、幅広い雑草に効果を示し、SU抵抗性雑草にも卓効を示すベンゾビスシクロンとの2成分混合剤。

●畦畔から侵入するイボクサなどの匍匐性雑草にも高い効果を示す。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

〈粒剤〉

●拡散性が高く、10 a 当たり200gの散布で優れた除草効果を発揮する。

●ドローン散布にも対応しており、従来の1キロ粒剤に比べて一度に広い面積分の薬剤を搭載できるので効率的。

〈ジャンボ〉

●拡散性が高く、10 a あたり200g (20g パック×10) の処理で優れた除草効果を発揮する。

〈フロアブル〉

●300 ml で初期剤、500 ml で初期一発剤として使用でき、田植同時処理や水口施用も可能。

【使用上のポイント】…………… 〈共通〉

●共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。

●雑草の発生前から生育初期に有効なので、フロアブル (使用量500 ml /10 a), 200粒剤, ジャンボの場合はノビエ2葉期までに時期を失しないように散布する。また、フロアブル(300 ml /10 a) の場合はノビエ1.5葉期までに時期を失しないように散布し、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせ使用する。

●多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意する。

〈粒剤・ジャンボ〉

雑草名	散布適期	
	粒剤	ジャンボ
ホタルイ	2葉期まで	
ミズガヤツリ	草丈5cm まで	
ヒルムシロ	発生期まで	

〈フロアブル〉

雑草名	散布適期	
	500ml /10 a	300ml /10 a
ホタルイ ミズガヤツリ へらオモダカ	2葉期まで	発生始期まで
ヒルムシロ	発生期まで	

〈フロアブル〉

●雑草害をもたらす栽培目的以外のイネの防除に使用する場合は、発生前に有効なので、散布適期を失しないように散布する。

【薬効・薬害等の注意】…………… 〈共通〉

●共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。

●適用作物 (水稲, 直播水稲) への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

●適用外作物 (いぐさ) の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

●共通注意事項の8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】……………
 〈共通〉

- 眼に対して刺激性がある（ジャンボは水溶性フィルムが破袋した場合）
- 皮膚に対して刺激性がある（ジャンボは水溶性フィルムが破袋した場合）

〈粒剤・ジャンボ〉

- 無人航空機による散布・滴下の際は、共通注意事項の2、空中散布及び無人航空機散布に関する注意事項を参照。

【適用と使用法】……………

①ホットコンビ200粒剤

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヒルムシロ	移植直後～ ノビエ2葉期 但し、 移植後30日まで	200g	湛水散布又は 無人航空機による 滴下	1 回※

※テニクロールを含む農薬の総使用回数：2回以内
 ※ベンゾピシクロンを含む農薬の総使用回数：3回以内

②ホットコンビジャンボ

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヒルムシロ	移植直後～ ノビエ2葉期 但し、 移植後30日まで	小包装 (ノバック) 10 個 (200g)	水田に小包装 (ノバック) のまま 投げ入れる。	1 回※

※テニクロールを含む農薬の総使用回数：2回以内
 ※ベンゾピシクロンを含む農薬の総使用回数：3回以内

③ホットコンビフロアブル

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ	移植直後～ ノビエ2葉期 但し、 移植後30日まで	500 ml	原液湛水散布， 水口施用又は 無人航空機による 滴下	2 回以内※
		移植時	300～500 ml	田植同時散布機で 施用	
		植代後～ 移植前7日 又は移植直後～ ノビエ1.5葉期 但し、 移植後30日まで	300 ml	原液湛水散布， 水口施用又は 無人航空機による 滴下	

※テニクロールを含む農薬の総使用回数：2回以内
 ※ベンゾピシクロンを含む農薬の総使用回数：3回以内